

# 令和2年度 県立駒林特別支援学校 学校評価のまとめ

## 1 各学部の成果と来年度に向けて

### (1) 小学部

今年度の合同生単では、縦割りグループ活動を多く取り入れました。昨年度までは、クラス毎に係分担をして、準備や作業を行ってきましたが、今年度は、子どもたち同士の関わり合いや協力を重視し、クラスを越えたグループ編成にしました。それにより、上級生が率先して良いお手本になり、1・2年生をリードする姿が見られました。体育ではペアになって用具を運んだり、声を掛けて集合することを教えたりしていました。

マラソン大会やわかこま祭などの大きな行事に向けては、早い時期から準備を始め、事前学習や練習を重ねました。それにより、本番でも自信をもって取り組むことができ、立派な態度で参加、発表することができました。保護者からも「頑張っている姿が見られて良かった」と概ね良い評価を得ることができました。

朝の支度等では、時間が不足気味の児童もおり、次の活動に間に合わせるために急いでしまうこともありました。もう少し余裕をもって支度ができるように時間帯を調整したり、児童によっては時間を柔軟にしたりしたいと思います。

今年度は宿泊学習や春の校外学習を実施することができませんでした。来年度は感染症対策が十分にとれるように、また児童の実態に合った充実したものになるように、見学先や日程を見直していきます。

### (2) 中学部

年間を通してのしごと学習や校内実習では、学部全体の生徒の実態に合わせた作業内容や支援方法を工夫することで、前向きにしごとに取り組む生徒が多かったです。上級生が下級生の前で作業等にしっかり取り組むことで良い見本となり学部全体で真剣にしごとに取り組む姿勢が身に付いてきました。

生活単元学習では、学部全体で学習し、様々な場面で役割分担をしたり、学年を超えた小グループで活動したりすることで、友達同士の協力や交流、一人一人が活躍できる場の設定がされ、周りの人と関わる力が付いてきました。

ランニングタイムでは、学期に1回記録会を設定したり、毎日の記録を取り掲示したりすることで、生徒が目標をもち、前向きに取り組むことができました。また、体力向上にもつながりました。

今年度はコロナ禍での活動となり、多くの制限がありましたが、来年度も感染症の状況を見ながら生徒の力を伸ばすために各教科の学習内容や学習の形態について工夫をしていきたいです。修学旅行、校外学習もできる範囲で様々な体験が積めるような活動を考えていきたいです。

### (3) 高等部

感染防止のための休業期間があり、様々なところで影響が出た一年でした。修学旅行や校外学習、職場・校内実習などはその時々の状況や学部の実態に合わせて実施してきました。回数的には例年より少なくなりましたが、生徒たちにとって有意義な学習活動ができました。

生活では、期間を決めた課題別グループで授業を行うことで、生徒の実態に合った内容の授業が実施できました。来年度は実施する時期や内容を明確にし、年間指導計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

ビジネスの授業では、生徒のグループ編成は課題学習と同じでも、担当する職員を変えることで授業の

ねらいをより明確にして学習を行うことができました。

来年度もまだ感染症の影響は残ると思われませんが、状況の変化に柔軟に対応しながら、学習内容の精選や充実に向けていきます。

## 2 保護者アンケートより

ほとんどすべての項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的評価が90%を超えています。多くの保護者の方から、当校の教育活動を高く評価していただいている結果と捉えています。一方で、否定的な評価をいただいている項目もあります。また、多くの項目で「分からない」と回答された方が、いらっしやいます。これらの数値を真摯に受け止め、これからも当校の教育活動がより充実したものとなるよう取り組んでいくとともに、その取組をより分かりやすく伝えていくことに努めていきます。

記述欄に記載していただいたご意見では、「ホームページがあまり更新されていない」とのご意見がありました。来年度は、広報に関わる校内組織を見直し、ホームページがより充実したものとなるよう取り組んでいきます。「子ども向けのアンケートで、意思疎通の難しい子どもは回答に困る。無回答でよいと書いているものがあまりない」とのご意見がありました。学校からご家庭に配付する児童生徒向けのアンケートは回答が難しい場合は、無回答でも構いません。その旨をアンケート配付時に伝えていくようにします。「災害時、学校への迎えに行く訓練をしてほしい」とのご意見がありました。災害時の保護者の対応について、学校から保護者にお知らせするようにしていきます。「先生が、子どもを あんた や おまえ と呼んでいる」とのご意見がありました。大変、申し訳ありません。呼名時の「さん」付けを職員全員で徹底していきます。また、「いつもありがとうございます。娘はいつも楽しそうです」「色々な事に気づかしながら指導・支援していただきありがとうございます」等、我々職員にとってたいへん励みになるご意見も多くいただきました。ありがとうございます。この他にも多くのご意見をいただいています。必要に応じて個々にお話を伺ったり、来年度の計画を立てる上で参考にさせていただいたりしていきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 3 児童生徒アンケートより

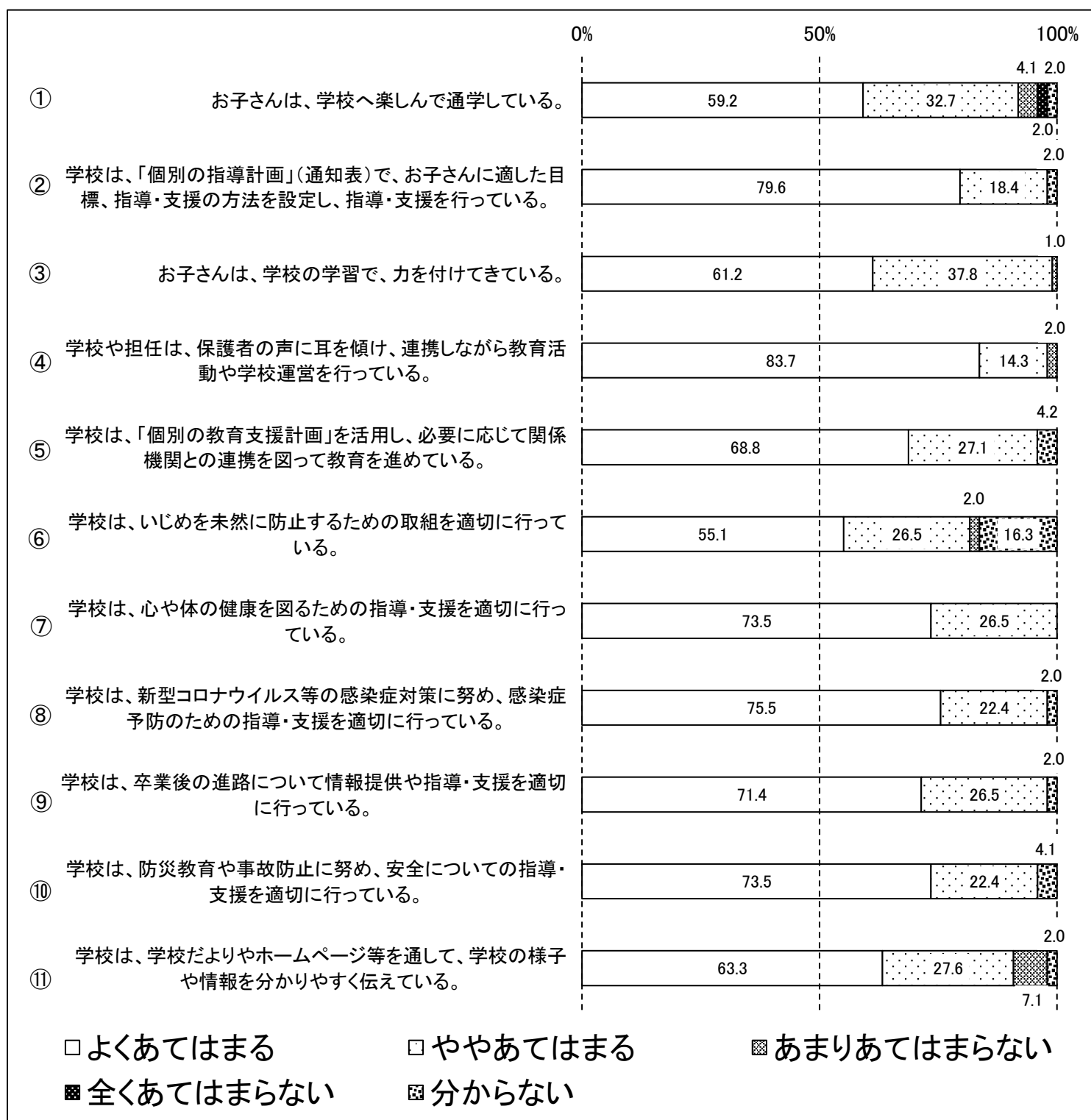
すべての項目で、○(はい)の肯定的評価が80%以上か、それに近い数字となっています。大多数の児童生徒にとって、現在の学校生活が満足できるものになっていると捉えています。一方、「学校は、楽しい」の質問に10%以上の児童生徒が、「学校の学習は、よくわかる」の質問に2%ほどの児童生徒が、×(いいえ)と回答しています。これからも、個々の児童生徒の思いや考えを大切にしながら、学んでいる内容がよくわかり、楽しい学校となるよう取り組んでいきます。また、「学校で、いじめはない」の質問に、×(いいえ)と回答した児童生徒にはすでに対応しています。これからもいじめの防止に努めていきます。

記述欄では、「学校をもっと楽しく、過ごしやすくするため」のさまざまな意見があげられました。これらの意見を職員全体で共有して、児童生徒の支援や教育活動に取り組んでいきます。

## 4 学校評議員会より

4名の学校評議員の方々には、学校参観や報告を通して児童生徒の活動についてご意見を伺いました。コロナ禍での状況について、現場実習などの地域での活動に制限がかかることを心配されていましたが、感染対策を丁寧にしながらい学習活動していることに良い評価を頂きました。また、今後は福祉と連携を広げることで児童生徒の支援が深まるよう、ご助言をいただきました。貴重なご意見に感謝申し上げます。

令和2年度 学校評価 保護者アンケート結果 (回答数49 回答率84.5%)



令和2年度 学校評価 児童生徒アンケート結果 (回答数45 回答率76.3%)

